

平成31年度 お茶の水女子大学大学院
人間文化創成科学研究科（博士前期課程）

ジェンダー社会科学専攻

（一般入試・外国人留学生入試・社会人特別入試）

（外国語試験）

試験日：平成31年2月4日(月)

試験時間：9時30分～11時30分

【注意事項】

1. 問1と問2の両方に解答しなさい。
2. 解答は、問題ごとに、別の答案用紙に記述しなさい。それぞれの答案用紙に、志望するコース、氏名、受験番号のほか、必ず自分が解答した問題の番号も記入すること。
3. とくに指示がない限り、日本語で解答すること。

問1 次の英文は、UNECE（国連欧州経済委員会）が無償の家事労働に関する評価について書いたものである。英文を読み、(1)～(3)に答えなさい。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承ください。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承願います。

(出典) United Nations Economic Commission for Europe. 2017. *Guide on Valuing Unpaid Household Service Work*. New York and Geneva, United Nations, pp.1-3. (一部改変)

- (1) 2014年に設けられた Task Force は、① 何を目的に、② 何を行いましたか。
- (2) 無償の家事労働を金銭評価する際にどのような問題があげられますか。この英文に即して答えなさい。
- (3) 下線部を日本語に訳しなさい。

問2 グローバル資本主義において「財産とは何か」を論じた次の英文を読み、(1)～(3)に答えなさい。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承ください。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承ください。

(出典) J.K. Gibson-Graham, Jenny Cameron, and Stephen Healy. 2013. *Take Back the Economy: An Ethical Guide for Transforming Our Communities*. Minneapolis: University of Minnesota Press, pp.125-126.

- (1) 下線部①について、著者らはなぜこの立て看板を bluntly と感じているのか、本文に即して述べなさい。
- (2) 段落②を全文、日本語に訳しなさい。
- (3) 下線部③について、privatization を著者らはどのようなものとして述べているか、要約しなさい。

平成31年度 お茶の水女子大学大学院
人間文化創成科学研究科（博士前期課程）

ジェンダー社会科学専攻

（一般入試・外国人留学生入試・社会人特別入試）

（ 専 門 試 験 ）

試 験 日： 平成 31年 2月 4日(月)

試 験 時 間： 13時00分～15時00分

【注意事項】

1. この問題冊子の全8問の中から2問選択して解答しなさい。
その2問のうちには、あなたが志望するコースが出題した問題を、
少なくとも1問は含めなければなりません。各問題の出題コース
名は、ページの上部に記載されています。
問題は、次の順番で配列されています。

問題番号	出題コース
問1～3	生活政策学コース
問4～6	地理環境学コース
問7～8	開発・ジェンダー論コース

2. 解答は、問題ごとに、別の答案用紙に記述しなさい。それぞれの
答案用紙に、志望するコース、氏名、受験番号のほか、必ず
自分が解答した問題の番号も記入すること。
3. とくに指示がない限り、日本語で解答すること。

生活政策学コース

問1 日本は、小学校、中学校を義務教育とし、租税財源で公的に供給が行われている。以下の問いに全て答えなさい。

(1) 以下の用語を簡潔に説明しなさい。

- ①市場メカニズム (Market mechanism)
- ②公共財 (Public goods)
- ③メリット財 (Merit goods)

(2) 日本において、義務教育の供給が、租税財源により公的に行われている理由を論じなさい。

問2 下の設例を読み、問いに答えなさい。

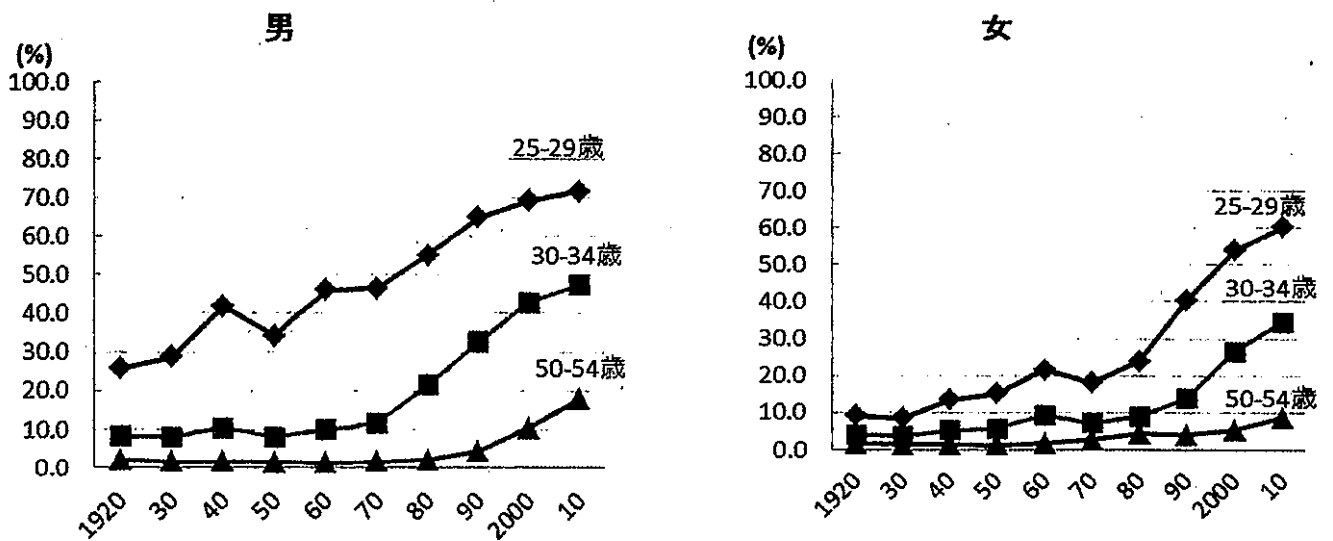
「A は女子大学院生である。研究テーマは LGBT の人権問題で、そのため当事者らに対する法社会学的な聴き取り調査などをおこなっていた。あるとき、以前から何度も聴き取りをしている調査対象者 X (女性) からメールがきて、“実は自分の家に居づらくなってきたので家を出たいのだが、行く先に心当たりがなくて困っている、あれこれ思い悩んでいる、できることなら A の下宿に居候をさせてもらえないだろうか”、などというような趣旨のことが書かれていた。どうやら X は本当に困っている様子である。しかし A の下宿は六畳一間の小さな部屋で、しかも A は修士論文執筆の真っ最中の時期であった。A は大いに悩んだ」(架空の設定)

この設例を研究倫理の観点からみた場合、A がなすべき対応についてどのような議論ができるだろうか。さまざまな事情・状況によって異なってくるであろう想定も含めて、あなたの考えるところを述べなさい。

生活政策学コース

問3 以下の図1および表1は、未婚率の性別・年齢階層別推移、および未婚者の生涯の結婚意思についての1987年から2015年までの調査結果を示している。これらの図表を参照して、以下の問いに全て答えなさい。

図1 未婚率の性別・年齢階層別推移



(注) 配偶関係未詳を除く人口に占める構成比を示す。

出典：国勢調査

(政府統計の総合窓口

https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&layout=datalist&toukei=00200521&tstat=000001011777&cycle=0&tclass1=000001011778&result_page=1&second=1&second2=1 より作成)

表1 未婚者の生涯の結婚意思

生涯の結婚意思		第9回調査 (1987年)	第10回 (1992年)	第11回 (1997年)	第12回 (2002年)	第13回 (2005年)	第14回 (2010年)	第15回 (2015年)
【男性】	いずれ結婚するつもり	91.8 %	90.0	85.9	87.0	87.0	86.3	85.7
	一生結婚するつもりはない	4.5	4.9	6.3	5.4	7.1	9.4	12.0
	不詳	3.7	5.1	7.8	7.7	5.9	4.3	2.3
	総数(18~34歳) (客体数)	100.0 (3,299)	100.0 (4,215)	100.0 (3,982)	100.0 (3,897)	100.0 (3,139)	100.0 (3,667)	100.0 (2,705)
【女性】	いずれ結婚するつもり	92.9 %	90.2	89.1	88.3	90.0	89.4	89.3
	一生結婚するつもりはない	4.6	5.2	4.9	5.0	5.6	6.8	8.0
	不詳	2.5	4.6	6.0	6.7	4.3	3.8	2.7
	総数(18~34歳) (客体数)	100.0 (2,605)	100.0 (3,647)	100.0 (3,612)	100.0 (3,494)	100.0 (3,064)	100.0 (3,406)	100.0 (2,570)

注：対象は18～34歳の未婚者。

設問「自分の一生を通じて考えた場合、あなたの結婚に対するお考えは、次のうちのどちらですか。」(1. いずれ結婚するつもり、2. 一生結婚するつもりはない)。

出典：国立社会保障・人口問題研究所『現代日本の結婚と出産—第15回出生動向基本調査(独身者調査ならびに夫婦調査)報告書—』2017年, p.13.

- (1) 図1および表1から読み取れることを記述しなさい。
- (2) (1)をふまえ、現代日本の若者の結婚に関する意識と行動について、「男性稼ぎ主モデル」という語を用いて説明しなさい。
- (3) 若者の結婚に関する行動が、今後の日本社会におよぼしうる影響と、それに対して社会的にとりうる対応について論じなさい。

地理環境学コース

問 4 観測時代以前の気候変動を知るにはどのような方法・手段があるか。具体的な試料・史料や分かる結果について、例を挙げて説明しなさい。なお、気候学における観測時代とは、測器による気象観測が系統的かつ定時的に行われ、月平均気温のような気候データを広域的に取得できる時代を指す。

地理環境学コース

問6 次の①～⑥の用語から2つ選び、それぞれ10行以内で説明しなさい。具体例を交えながら説明してかまわない。解答には、選択した用語の番号を付すこと。

- ① 津波災害
- ② 一般図・主題図
- ③ 文化産業
- ④ オルタナティブ・ツーリズム
- ⑤ 領土・領空・領海
- ⑥ フード（食品）ロス

開発・ジェンダー論コース

問7 グローバリゼーションの下で、人、資本、財、サービス、知識、情報の移動と交流が、国家や地域の枠組みを超えて活発化している。このようなグローバリゼーションという現象は、ジェンダーをめぐる社会関係のありかたにどのような影響をもたらしているだろうか。具体的事例に即して論じなさい。

問8 難民問題について、以下の2つの問いに答えなさい。

- (1) 難民が発生する国と受け入れ国との双方に触れ、難民問題について論じなさい。
- (2) 難民問題における国連の貢献と限界について述べなさい。